

発行元  
東京新聞  
南千住東口専売所  
TEL 5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL 090-2657-0300

# すまいるたうん



第204号  
平成24年

2月3日

## 紙と色鉛筆で、こすり出す 記憶 NPO 法人千住すみだ川

「記憶をかたちにしたい」

昨年4月にNPO法人千住すみだ川を立ち上げて理事長として活躍されている海老江重光さんは、コツ通りのバーバースヨップABの三代目です。NPO法人千住すみだ川は南千住の商店の二代目三代目などが中心に設立されました。

NPO法人千住すみだ川では、美術作家酒百宏一氏の指導のもとに1000(千)×10(住)＝1万枚のフロタージュ(こすり出し)を行っています。フロタージュ(こすり出し)とは何でしょうか？B5版の紙の下に歴史ある建物の上から色鉛筆や描く転写技法です。いろいろ転写してみるとイメージを超えた楽しい発見があります。

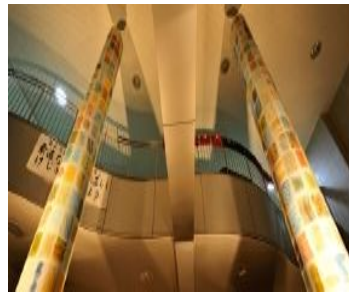
旧南千住製作所・素盞雄神社・コツ通り商店街・旧大黒湯・仲通り商店会・草津湯・区立第三瑞光小学校・区立第二瑞光小学校・汐



入東小学校・千住大橋・山王清兵衛の祠・日枝神社・隅田川防潮堤・延命寺・汐入水門跡・白鬚橋・石浜神社東亜潜水機株式会社・JR貨物隅田川駅・豊川稲荷・都電荒川線荒川車庫・円通寺・弁天湯等をこすり出しを行っています。現在6000枚の作品が集まっています。

第三瑞光小学校、第二瑞光小学校では、生徒さん達により収められているかつての暮らしを伝える民具資料から記憶を写し取りました。

また10月1日～11月2日には、荒川線100周年に合わせ、都電荒川線荒川車庫とあらかわ遊園において、約70名の一般参加者で制作した作品を、都電荒川線特別列車『100年の記憶号』運行(三ノ輪橋～早稲田)都電車両内に展示しました。



### 「御柱のように」

荒川区立南千住第二中学校では、明治から大正にかけて中学校の敷地には、当時日本最大の火力発電所がありました。全校生徒と町の記憶を写しとった作品を当時と同じ2本の煙突に貼り込み、生徒の協働で立ち上げました。

「断られて断られて理解を貰いました」

精力的に活動されている海老江さんですが、はじめたころは、「面倒だからいい」という方達もおり理解してもらうことに苦労されたそうです。

「こすり出すことによって地域の人達の交流ができれば」

美術が好きで新潟のアートプロジェクト、地域起こしを手伝っていました。先ずは地元の街起こしをするべきではないかこのプロジェクトを地元有志を募って協力を求めて動いておられます。

こすり出しの制作は月に1回開催。参加費無料。年齢を問わず、老若男女の方達にこすり出しに参加していただき、地域交流・世代交流ができればと思っておられます。

今年の10月には南千住のあちこちの空き店舗や場所を使って一万枚の町の記憶を展示致します。まずは、一枚の歴史をこすり出しに出かけてみませんか。

◇2月12日(日) 13時30分～15時30分  
胡録神社(南千住8丁目)

襖絵特別公開

13時15分南千住駅前集合、または現地  
13時30分 雨天中止 参加無料

◇3月27日(火) 13時30分～15時30分

ガスタンク(南千住3丁目) 参加無料  
定員30名(10歳以上) メールにて申込  
お問合せ 海老江重光さん

TEL (3801) 3428

info@senju-sumidagawa.org